

お客さま本位の業務運営への取組状況について

百十四銀行（頭取 綾田 裕次郎）は、金融庁公表（2017年3月）の「顧客本位の業務運営にかかる原則」に基づき、「お客さまの資産運用及び資産形成をご支援する業務の基本方針」（以下、基本方針という）を制定し、同方針のもと、お客さま本位の資産運用及び資産形成業務に継続的に取り組んでおります。

「基本方針」に基づく2020年度の取組状況を、別紙のとおりとりまとめましたのでお知らせします。

引き続きお客さまの資産運用及び資産形成のご支援に一層つとめてまいります。

以 上

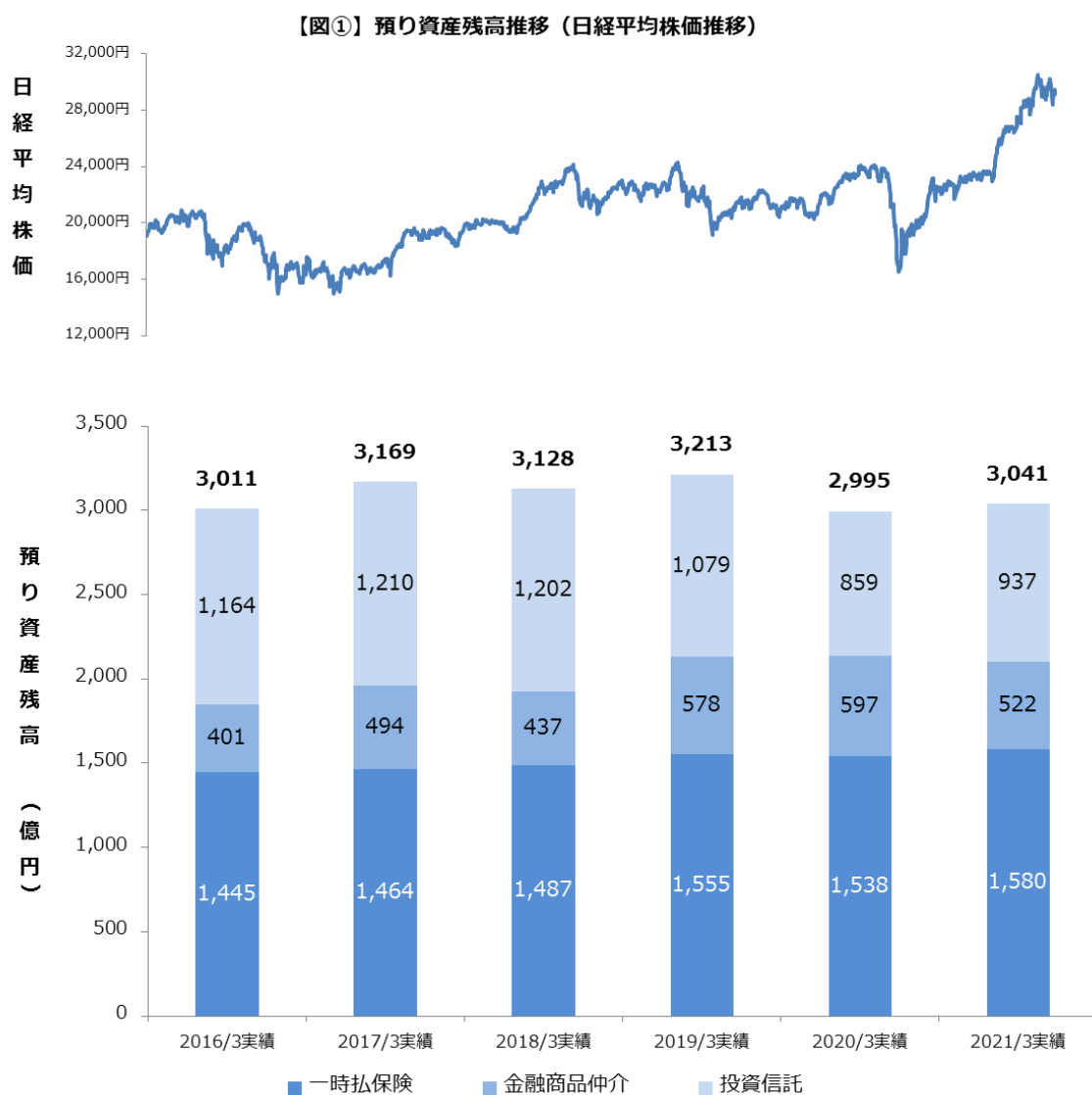
(別紙)

○お客さま本位の業務運営への取組状況

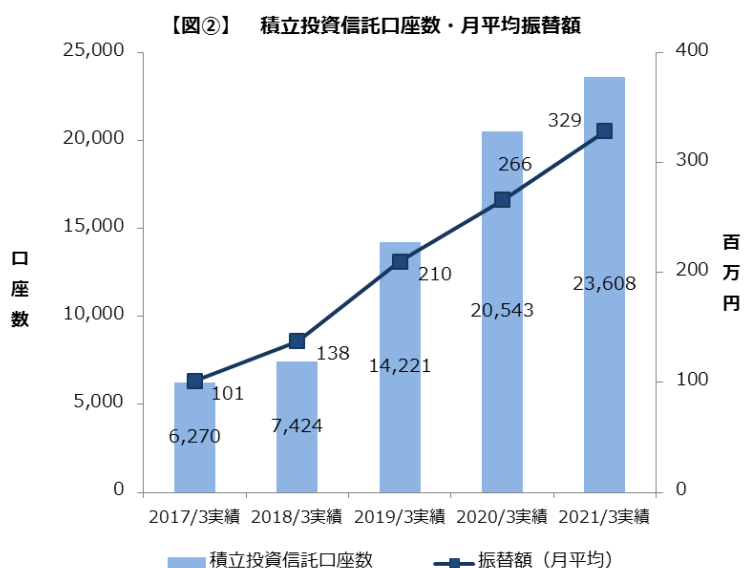
【基本方針1】 誠実・公正な資産運用・資産形成のご支援(本原則2・3・4・6に該当)

- ✓ お客さまの資産形成及び資産成長をご支援するため長期安定運用商品、積立投資信託のご提案に努めるとともに、長寿社会を見据えた取組みを強化したことから預り資産残高は増加しました。【図①】
- ✓ 資産形成を始めるお客さまを中心に、積立投資信託取引の提案を行っており、積立投資信託口座数、積立金額ともに増加しています。引き続き、お客さまの資産形成のご支援のため、積立投資信託取引等のご提案に努めます。【図②】
- ✓ 「長期・積立・分散投資」促進による長期でのお客さまの資産形成のご支援に努めておりますが、価格変動が比較的小さくなるよう分散投資されたコア・バランスファンドについて、投資信託販売額に占める販売比率はテーマ型商品への資金流入が増加したことで21.6%となりました。【図③】
- ✓ 一般的に投資効率が悪く、長期資産形成に向いていないとされる毎月分配型商品数の割合を19.8%に削減しました。【図④-1】
- ✓ 商品のご提案にあたっては、リスクとリターンの関係及び複利効果等の説明を丁寧に行っており、投資信託販売額に占める毎月分配型商品の販売割合は15.7%となりました。【図④-2】

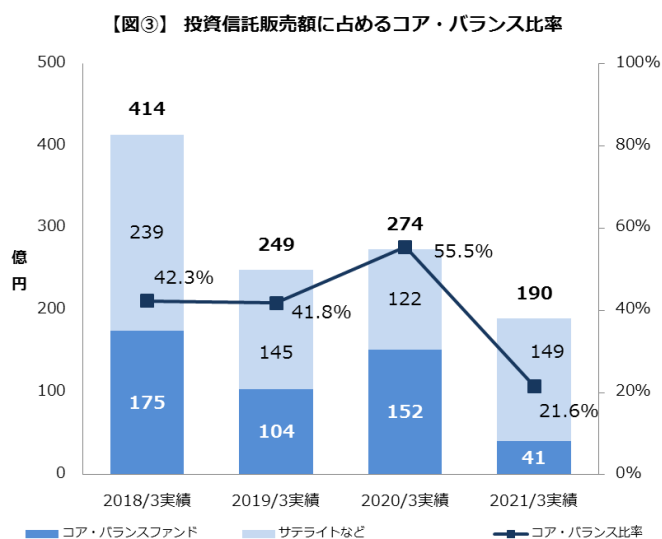
(1) 預り資産残高推移



(2) 積立投資信託口座数

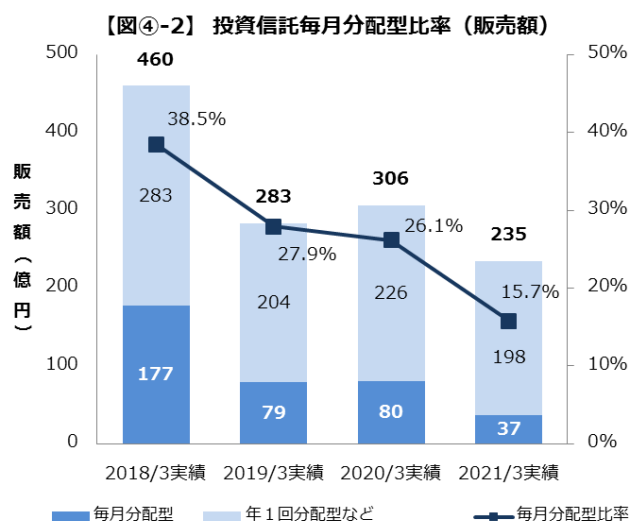
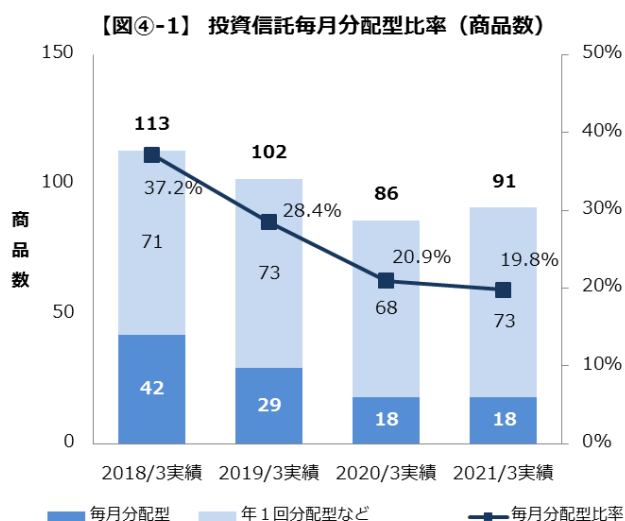


(3) 投資信託販売に占めるコア・バランスファンド比率



(※)ノーロード日本株投信は販売額から除外

(4) 投資信託の商品ラインナップに占める毎月分配型商品数(期末時点)・販売額構成比

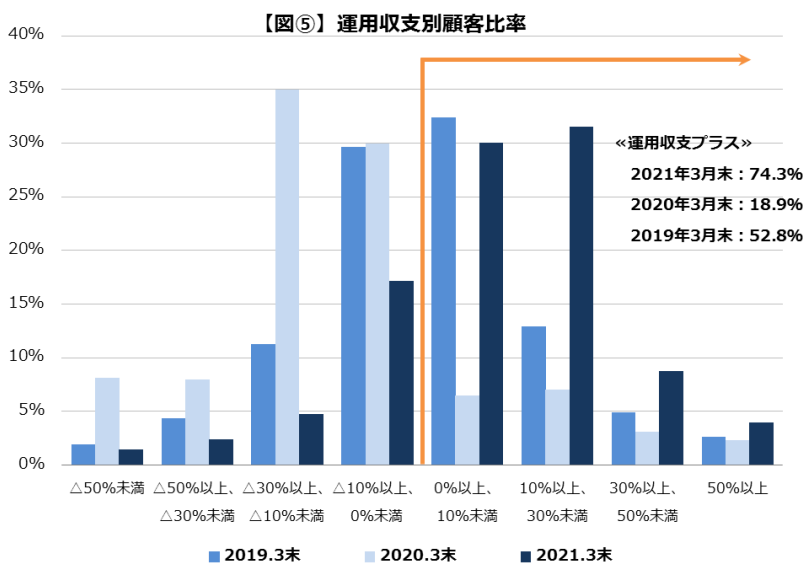


【投資信託の販売会社における比較可能な共通KPI】

(5) 投資信託の運用収支別顧客比率

- ✓ お客さまにご購入いただきました投資信託の運用収支状況について、収支区分毎のお客さまの割合を示しています。2021年3月末時点で、74.3%のお客さまの運用収支がプラスとなりました。【図⑤】

運用収支比率	人数	構成比
50%以上	1,479	4.0%
30%以上、50%未満	3,286	8.8%
10%以上、30%未満	11,798	31.5%
0%以上、10%未満	11,227	30.0%
△10%以上、0%未満	6,406	17.1%
△30%以上、△10%未満	1,792	4.8%
△50%以上、△30%未満	893	2.4%
△50%未満	536	1.4%
合計	37,417	100.0%



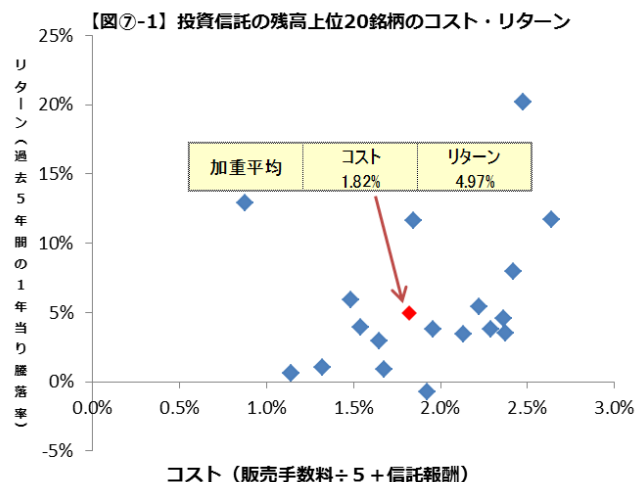
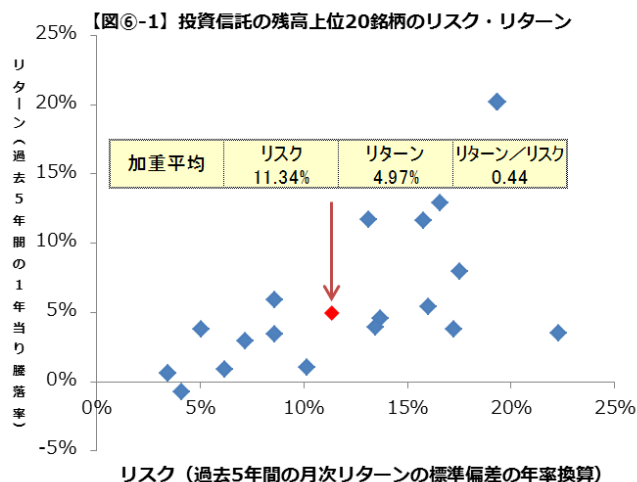
【投資信託の販売会社における比較可能な共通KPI】

(6) 投資信託の残高上位 20 銘柄のリスク・リターン

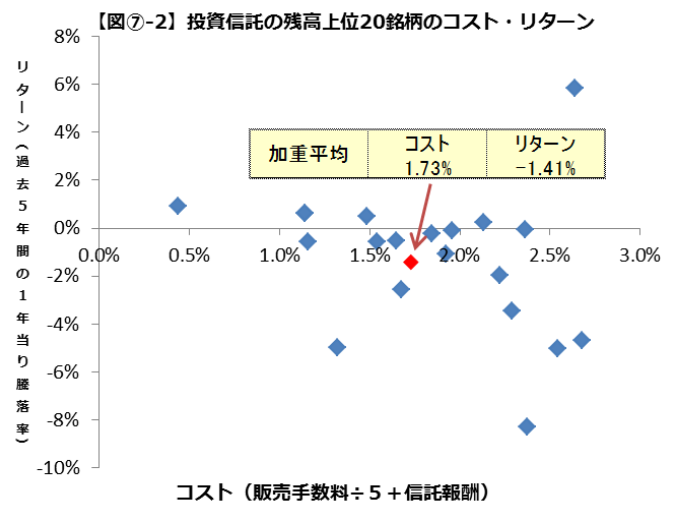
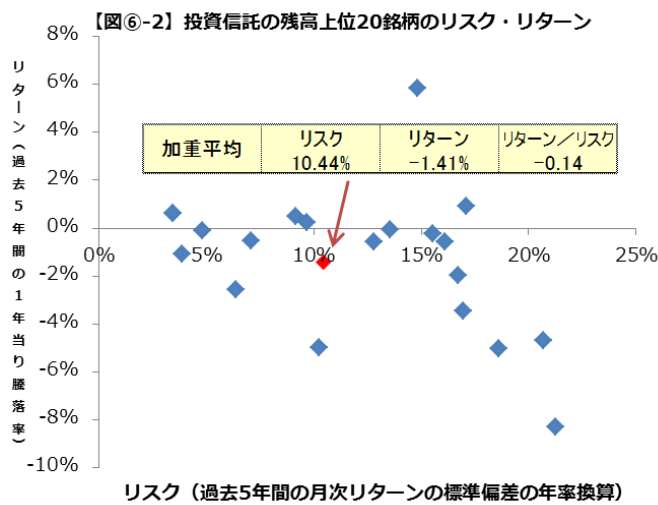
(7) 投資信託の残高上位 20 銘柄のコスト・リターン

- ✓ お客さまにご購入いただきました投資信託の残高上位 20 銘柄について、リスクやリターン、コストを示しています。平均リスク 11.34%、平均リターン 4.97%、平均コスト 1.82%となりました。【図⑥-1】【図⑦-1】

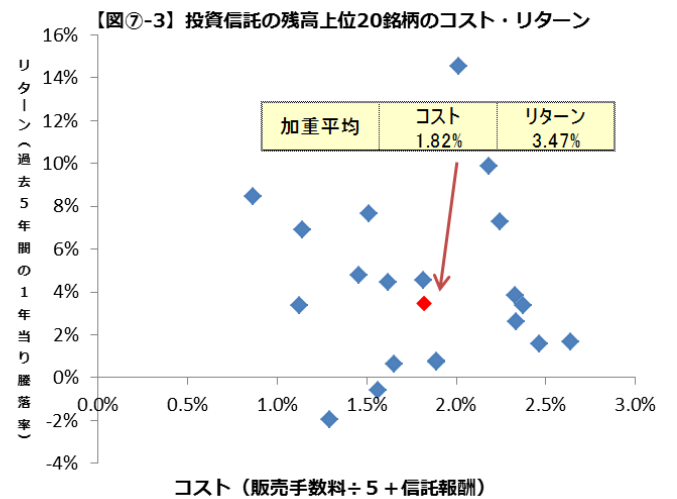
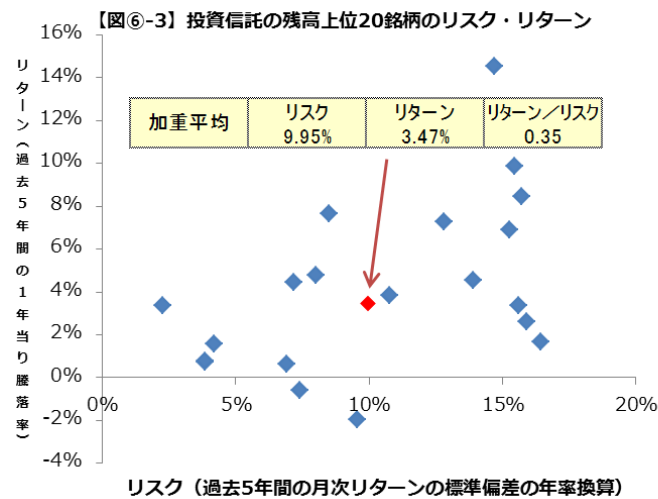
■2021年3月末



■2020年3月末（参考）



■2019年3月末（参考）



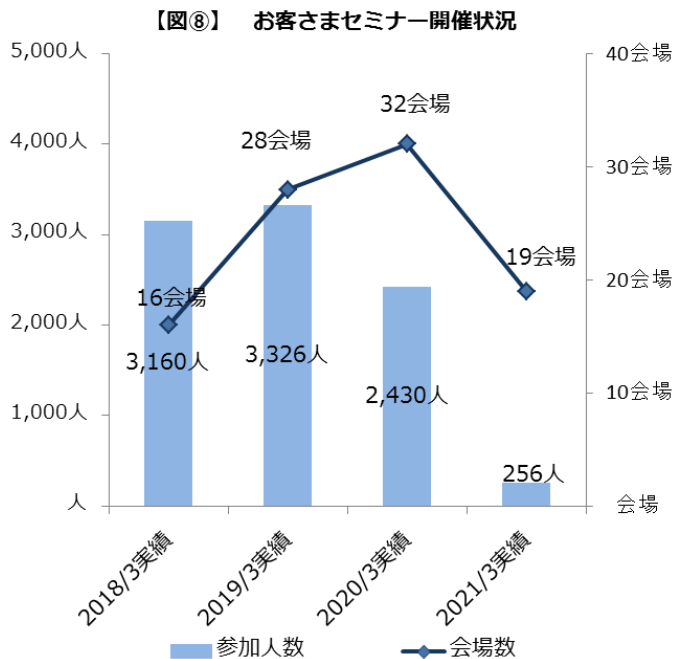
■投資信託預り残高上位 20 銘柄のリスク・リターン・コスト一覧（2021年3月末）

残高順位	商品名称	残高（百万円）	リスク	リターン	コスト
1	東京海上・円資産バランスファンド（毎月決算型）	5,802	3.45%	0.57%	1.14%
2	高金利先進国債券オープン（毎月分配型）	5,078	6.17%	0.91%	1.67%
3	ピクテ・グローバル・インカム株式ファンド（毎月分配型）	3,946	13.69%	4.58%	2.36%
4	ニッセイ豪州ハイ・インカム株式ファンド（毎月決算型）	3,632	22.28%	3.52%	2.38%
5	東京海上・円資産バランスファンド（年1回決算型）	3,324	3.46%	0.59%	1.14%
6	タイフ・U S - R E I T ・オープン（毎月決算型）Bコース（為替ヘッジなし）	3,117	16.03%	5.44%	2.22%
7	アジア・オセアニア好配当成長株オープン（毎月分配型）	2,840	17.54%	7.97%	2.42%
8	日経225ノーロードオープン	2,433	16.57%	12.94%	0.88%
9	短期豪ドル債オープン（毎月分配型）	2,363	10.15%	1.04%	1.32%
10	ニッセイリートオープン（毎月分配型）	2,152	13.45%	3.95%	1.54%
11	財産3分法ファンド（不動産・債券・株式）毎月分配型	2,149	8.61%	5.88%	1.49%
12	ピクテ・アセット・アロケーションファンド（毎月分配型）	1,850	5.06%	3.77%	1.96%
13	グローバル好配当株オープン	1,618	15.78%	11.61%	1.85%
14	モルガン・スタンレー グローバル・プレミアム株式オープン（為替ヘッジなし）	1,613	13.12%	11.69%	2.64%
15	ロボット・テクノロジー関連株ファンド（年1回決算型） -ロボテック(年1回) -	1,606	19.34%	20.22%	2.48%
16	B A Mワールド・ボンド&カレンシー・ファンド（毎月決算型）	1,495	4.12%	-0.77%	1.93%
17	香川県応援ファンド	1,446	7.18%	2.97%	1.65%
18	ニッセイ短期インド債券ファンド（毎月決算型）	1,389	8.58%	3.41%	2.13%
19	D I A Mワールド・リート・インカム・オープン（毎月決算コース）	1,362	17.26%	3.81%	2.29%
20	ロボット・テクノロジー関連株ファンド -ロボテック-	1,234	19.37%	20.19%	2.48%
残高上位20銘柄の加重平均		50,450	11.34%	4.97%	1.82%

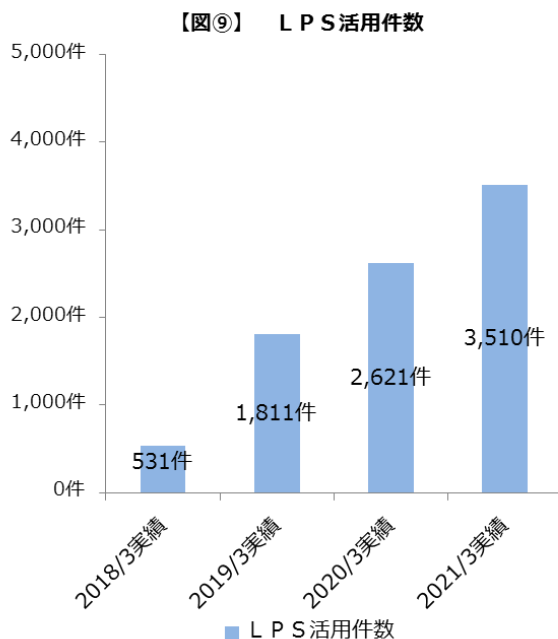
【基本方針2】お客さま本位の販売態勢の整備(本原則4・5・6に該当)

- ✓ お客さまへの情報提供機会の充実と確保及びご契約後の継続的なアフターフォローを通して、時間とともに変化するお客さまのご意向にお応えするため、お客さまセミナーを開催しましたが、2020年度はコロナ禍において、お客さまの安全と安心に配慮させていただきました結果、19会場において開催し、256名のお客さまにご参加いただきました。【図⑧】
- ✓ お客さまのライフプランを把握、共有することで、より適切な商品・サービスを提供することを目的にLPS(ライフプランニングサービス)の活用を促進しています。引き続き、LPS活用によるライフプランコンサルティングの強化を図ります。【図⑨】

(8) お客さまセミナー開催状況



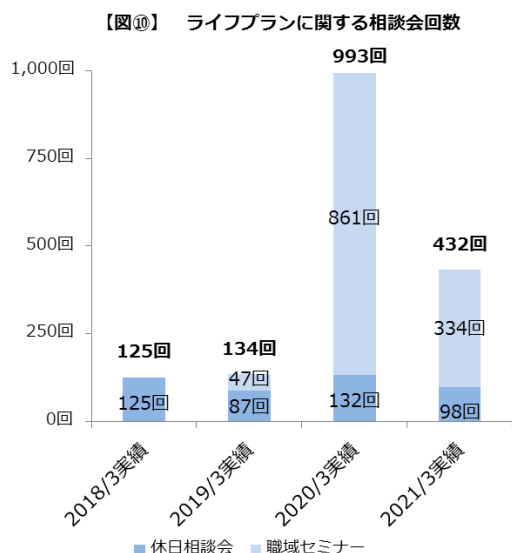
(9) LPS(ライフプランニングサービス)活用件数



【基本方針3】 サービス品質の向上(本原則6に該当)

- ✓ お客さまからの末永い信頼をいただくため、サービス品質の向上に努めており、2020年度は、年間432回の相談会を開催し、資産形成や住宅ローン、セカンドライフに関するご相談を承りました。引き続き、お客さまからのご要望に幅広く、継続的に応ええる態勢整備を図ります。【図⑩】

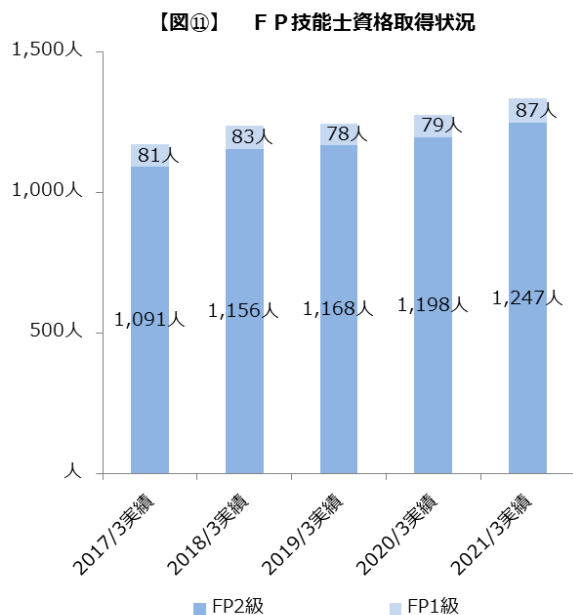
(10) ライフプランに関する相談会開催



【基本方針4】 お客さま本位の徹底とプロフェッショナル人材の育成(本原則2・6・7)に該当)

- ✓ お客さま本位の姿勢を徹底するとともに、適切な提案のできるプロフェッショナル人材の育成に取り組むため、役職員の自主的な能力向上を支援する研修・教育体系の充実を図り、FP技能士資格者数の増加に取り組んでいます。【図⑪】
- ✓ 2020年度はお客さま本位の営業体制を整備するため、お客さまアンケートを実施し、貴重なご意見を頂戴しました。教育・研修を通して役職員へ浸透を図ります。

(11) FP技能士在籍者数



以上